

令和2年度 実施事業の概要

教育事業名: 妙高自然体験活動 合同スキルアップ研修
期間 令和2年6月20日(土)～21日(日)
対象及び参加人数: 大学生 学校教員 その他 参加人数: 48名
<p>目的:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然体験活動の指導者として幅広い知識と技術をもち活躍できる人材の育成 ・妙高のフィールドや身近なフィールドでの自然体験活動指導者の育成 ・自然体験活動指導者としてのスキルアップと資質の向上
<p>事業概要:</p> <p>1日目に、妙高自然体験活動の基本(理論編)を行い、指導者として子供たちへの接し方や安全管理について学んだ。また、アイスブレイクや草花遊びの自然体験演習を行った。2日目には、理論編の続きとして、指導者としての心得、最近の子供たちの学びの様子について学んだ。また、仲間づくりの活動を行った。午後からは、自然体験演習として源流探険を行い、互いの知識や技術を披露しながら、研鑽を積んだ。</p>
<p>成果:</p> <p>妙高自然体験活動の基本(理論編)では、「妙高の自然体験活動の概要」「指導者としての心得」「子供たちへの接し方」「妙高自然体験活動の安全管理」「子供たちは今どのように学んでいるか」について講義を行ったことにより、多様な価値観を認め合う人間関係の作り方や学習指導要領との関わりなど、最新の情報を共有することができた。また、指導員としての指導法の基礎部分を共通理解する場となった。</p> <p>自然体験演習①では、アイスブレイクや草花遊び、仲間づくりゲームの実践を行った。参加者同士が和やかな雰囲気の中、活動の意義を知るとともに、指導上の留意点を確認した。実技を通して、参加者同士の距離が近くなり活発な話し合いが形成されていくことを実感することができた。</p> <p>また、自然体験演習②では、源流探険を行った。テーマを意識することで、より深い学びにつなげる実践を体験することができた。互いの引き出しや技能を披露しあったり、日頃の悩みや苦勞などを共有し合ったりする良い機会となった。</p>

<p>課題:</p> <p>指導員の高齢化が進んでおり、若手の育成に目を向けていく必要がある。</p> <p>今日的課題を捉え、常に新しい知識や情報を参加者に発信していく必要がある。特に、コロナウイルス感染拡大防止に向けた新しい生活様式を踏まえた体験活動の在り方、指導法などを探っていく必要がある。</p>